

0566-21-0211

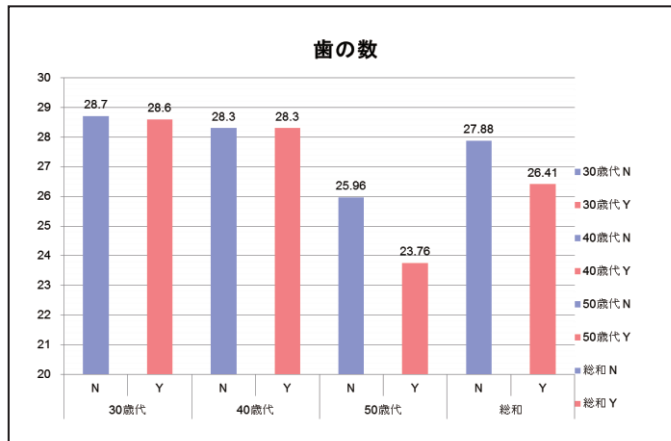
明けましておめでとうございます。京極歯科の久田和明（ひさだかずあき）です。
今回25号は院長の研究業績より説明を加え、身近な問題と関連して解説します。



謹賀新年

平成19年より刈谷市歯科医師会の事業として豊田自動織機の「歯の健康づくり教室」の健診結果を分析しております。その結果より身近な情報として、**お口の健康と全身の健康が密接に関連している**ことがわかりました。その内容をご紹介します、説明します。

【 歯周病 と メタボリックシンドロームの関係 】



赤いYの棒グラフが
メタボと判定された人

青いNの棒グラフが
メタボでない健康な人

医院のお花



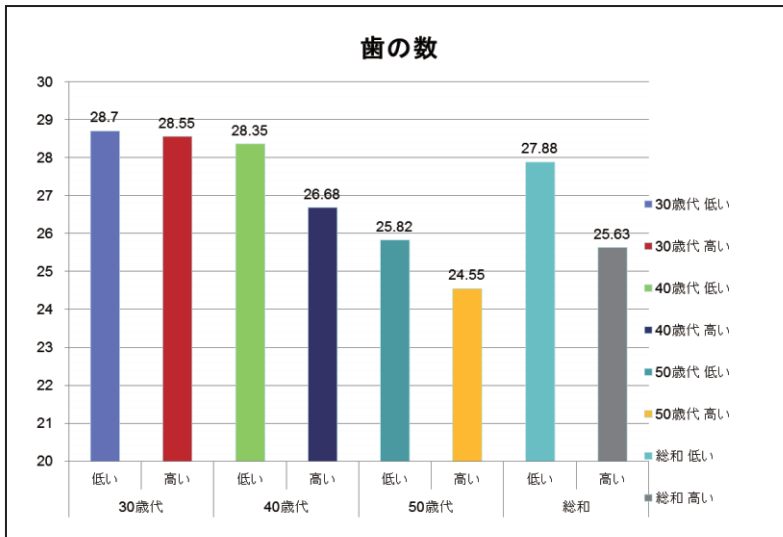
このグラフから 歯の数が減少すると、メタボになる確率が高くなり、その傾向は30歳代・40歳代・50歳代と年齢が上がるほど顕著になります。歯周病が進み、歯の数が少なくなることで、メタボリックシンドロームになる確率が高くなることがわかりました。

このことは、歯の数が少なくなることにより、よく噛むことができなくなり、柔らかいもの中心の食事になり、そのために摂取するものがコレステロールが高く、甘いものばかりの傾向になることが原因していると考えられます。

40歳以上の方の歯を失ってしまう原因は 歯周病がほとんどです。お口の健康と歯周病対策を日頃からこころがけて、お口のメンテナンスをすることがとても大切です。



【 歯周病 と 糖尿病 の関係 】



「高い」棒グラフは
血糖値が高く
糖尿病の人

「低い」棒グラフは
血糖値が低く
健康な人

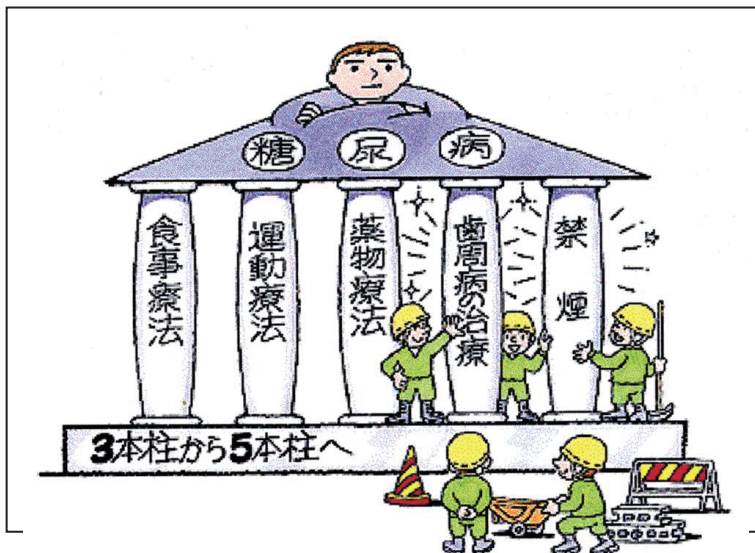
このグラフの結果より、どの年齢においても血糖値が高く糖尿病の疑いのある人のほうが歯の数が少ないことがわかり、その程度は年齢が上がるほど著名であることが判明しました。

糖尿病と歯の数は密接な関係にあり、歯の数が少ない人は明らかに血糖値が高いことがわかります。

歯周病のような慢性疾患が存在すると、炎症生物質が多量に分泌され、この炎症性物質がインスリンの働きを抑制するため、血糖コントロールが悪化して高血糖状態になることが知られています。

糖尿病は様々な合併症を引き起こすとても怖い病気です。

お口の健康を維持し、歯周病を予防して、高血糖状態にならないように日頃の生活習慣をみなおしましょう！



【分析は専門の歯科大学の研究機関による、ANOVA法による分散分析で得られたグラフです。】

京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP...<http://www.kyougoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyougoku.jp/>

歯周病が心配
でしたら、お気軽
にご相談ください。

メタボを気にしてい
る方は歯周病
をケアしましょう！



久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はへたなゴルフ